

幼稚園だより

2月号

令和7年 1月31日

荒川区立花の木幼稚園

園長 竹下 佳余

豊かで有意義な経験を積みながら

園長 竹下 佳余

「春が立つ」と書いて「立春」。今年は2月3日（月）です。暦の上ではその日を境にして春に向かうこととなります。公園の木々や草花もじっと温かい春の訪れを待っているように感じます。まだまだ寒い日が続きそうですが、進んで戸外に出て体を動かすことを楽しみ、寒さに負けずに元気に活動してほしいと思います。その中で、身近な自然の変化を感じ取り、今の時期ならではの体験をたくさんしてほしいと願っています。

1月22日（水）、本園で幼児教育研修会が行われました。園児たちが毎週楽しみにしている「なかもく」の時間を公開し、区内の幼稚園・こども園・保育所の先生方、そして第九峡田小学校の先生等たくさんの方々に子供たちの学びの様子を見ていただきました。「なかもく」「なかよしタイム」は、異年齢交流における課題を受け、「人との関りの中で育ち合う幼稚園を目指して～異年齢交流を通して園内のつながりを育む～」をテーマに豊かな幼児教育を実現するために取り組んできました。その結果「経験や活動の広がり」「多様な感情体験」「人と関わる力」を研究の柱とした様々な活動を通して、人と関わろうとする姿を育むことができました。講師の先生からは、関りの中で思いがすれ違っても、「いっぱいやって、だめだったけど、私は大丈夫、まだまだやれる」と乗り越えられた経験は、予測不能な世の中を自分らしくたくましく生きる力を身に付ける上でとても重要だと、お話いただきました。

今月も、保護者の皆さまと力を合わせて子ども達の成長を見守っていきたいと思います。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・友達や教師と一緒に表現遊びを楽しむ。
- ・一緒に遊ぶ中で自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気づいたりしていく。

《4歳児：こあら組》

- ・興味のあることにじっくり取り組むことを通して、自信や意欲を育む。
- ・友達と共通のイメージをもって、自分なりに表現したり、友達と一緒に動いたりすることを楽しむ。

《5歳児：いるか組》

- ・互いの良さを認め合いながら、意欲的に遊びや生活を進める。
- ・繰り返したり、試したりしながら、自分なりの課題に取り組もうとする。

